

名北工業株式会社における QC 検定の導入・活用のご紹介

名北工業株式会社
TQM 推進室
秋葉 賢樹

1. 企業紹介（会社概要）

名北工業株式会社

- 創 業 1946年11月
- 資本金 60百万円
- 代表取締役会長 福西 辰子
- 代表取締役社長 福西 康和
- 事業内容 高級冷間圧造用鋼線（自動車用）
- 所在地 〒505-0039
岐阜県美濃加茂市蜂屋台1丁目8番地の1
- 従業員数 161人（2014年11月時点）
- 売上高 約140億円(2013年度)



2. QC検定導入の経緯

名北工業株式会社では、2009年 TQM 活動導入を契機として、「e-QCC 活動」を導入することにより、全員参加型の改善活動を実現することができました。

しかし、「e-QCC 活動」導入当初は、改善活動は行われていましたが、勘や経験に頼った活動が主流で、使用される統計手法も QC 七つ道具程度でした。このレベルを全社的に向上させるために、社内で「TQM 工房」を開催し、QC 的ものの見方・考え方を強化することで、QC ストーリー及び QC 手法の理解を高めるとともに、併行して QC 検定に挑戦して、自己能力の確認と更なる知識向上への意欲推進を図りました。

QC 検定受験者も初挑戦時は品質関連部署の関係者数人でしたが、2 回目は社員全員が受検し、高取得率を得て、以後現在に至るまで未取得者(新入社員、転入社員)0 人を目指し、活動を継続しています。

3. QC検定取組の具体例

[日常的取組]

QC サークル活動を支援する中で、実践に合わせた SQC 手法の使い方などを教えています。

[QC 検定支援取組]

毎回受検前に 2~3 ヶ月かけて、級別に勉強会を開催して、テキストおよび過去問題を勉強しています。その際の講師は TQM 推進室および上級検定資格保持者のうちの支援者が務めています。

検定受検料は 100% 会社が負担し、合格時には、全ての級を対象に 1 回報奨があります。

4. QC検定受験者の状況・実績

図1、図2のQC検定取得状況を参照してください。

1～4級の延べ取得率は93.2%(2014年3月時点)です。この高取得率に対して、日本科学技術連盟より、QCサークル活動ギネス認定記録(第108号)を認められました。

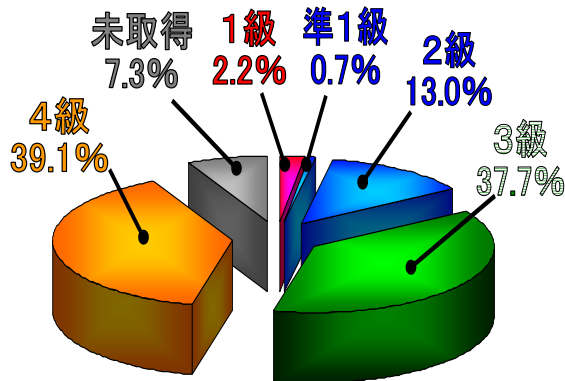


図1 取得級別 QC 検定取得者数の円グラフ

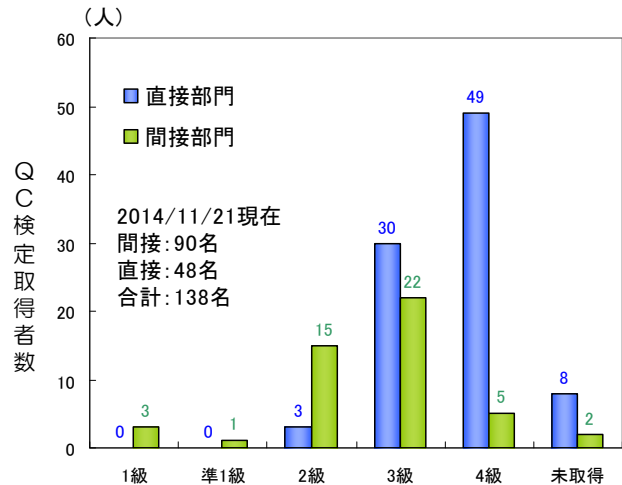


図2 部門別・取得級別 QC 検定取得者数

5. QC検定に期待すること

ここまでのQC検定への挑戦実績をみて、目的とした、QC手法と実践に関する知識向上と、社員全員受検によるe-QCC活動への参画意識の醸成が図れたと思います。今後は、このQC検定高取得率を維持向上することを継続しつつ、各自が得られた知識を、職場の問題解決活動に実践活用することを推進します。

6. 学校(学生、生徒)に期待すること

会社に入って、社会人として働く予定の学生には、希望の業種に関わらずQC4級程度の知識は習得できるように教育していただきたいと思います。

さらに、理系の技術分野で働きたい学生には、SQC手法に関する知識を修得するために、より上級のQC検定にチャレンジすることをお勧めします。会社に入ってから、SQC手法の実践活用に注力できるようにしていただきたいからです。